

宮城県考古学会連絡紙

第87号

2023年4月22日発行

〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1

東北大学大学院文学研究科考古学研究室気付 宮城県考古学会事務局

2023 年度宮城県考古学会総会・研究発表会について

2023 年度総会・研究発表会については、新型コロナウイルス感染症対策の呼びかけを行い、通常の実施方法で実施いたします。参加申し込みは不要です。

日時:2023 年5月 20 日(土) 10:00~16:30

会場:松島町文化観光交流館アトレ・るHALL(宮城県宮城郡松島町磯崎字浜1-2、駐車場 150 台、仙石線高城町駅下車徒歩7分)

主催:宮城県考古学会

共催:松島町教育委員会、宮城県教育委員会(予定)

※参加費・資料代:無料

日程

【総会】

9:30~ 受付

10:00~10:50 総会

《議案》

- (1)議案第1号 2022 年度事業報告 について
- (2)議案第2号 2022 年度収支決算報告
- (3)議案第3号 2023 年度事業計画 (案)について
- (4)議案第4号 2023 年度収支予算 (案)
- (5)その他

【研究発表会】

○研究発表

11:00~11:30 柳澤和明「多賀城「城下」南方の潟湖存在説の再検討」

11:30~12:00 相原淳一「遺跡における津波堆積の検討—津波固有の堆積構造と珪藻分析を中心に—」

○特集「宮城の中近世考古学の可能性」

13:00~13:05 趣旨説明 古川一明 中近世部会長

13:05~13:35 報告① 竹井英文「宮城県の中近世城館跡をめぐる諸問題」

13:35~14:05 報告② 田中則和「三陸南部の板碑」

14:05~14:20 休憩

14:20~14:50 報告③ 森田義史「宮城県域出土の中世陶磁器集成に向けて」

14:50~15:10 報告④ 横田竜巳「宮城県の近世石仏についての一考察—遠田郡一帯の子安観音塔を例に—」

15:10~15:25 休憩

15:25~15:55 報告⑤ 仙台市教委「仙台城跡の近年の調査

成果について」

15:55~16:25 特集総括 川又隆央 中近世部会副会長

16:25~16:30 閉会行事

【懇親・交流会】

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今回は中止いたします。

【注意事項】

○新型コロナ感染症対策のため、体調のすぐれない方、風邪等の症状のある方は参加をお控えください。

○会場でのマスク着用は個人の判断に委ねます。

○会場入り口などにアルコール消毒液を設置しますので、適切にご活用下さい。

○施設内は飲食禁止となります。ご注意ください。

○新型コロナ感染症に伴う緊急事態宣言等の発出等により延期・中止等をする場合は、下記ホームページにて連絡致します。

【連絡先】

宮城県考古学会 企画代表幹事 安達訓仁

Fax: 022-217-5103 、E mail: info@m-kouko.net

博物館・展覧会・イベント等情報

【東北歴史博物館】

●特別展「悠久の絆 奈良・東北のみほとけ展」

[会 期]令和5年4月 15 日(土)~6月 11 日(日)

[会 場]東北歴史博物館 特別展示室

●館長講座

第1回 4月 22 日(土)「石器時代の経済学」

第2回 5月 27 日(土)「太古のアート:具体と抽象の間」

第3回 6月 24 日(土)「日本人・日本文化はどこから来たのか」

第4回 7月 22 日(土)「教育と史跡:仙台城二の丸から」

第5回 8月 26 日(土)「隣の国と考古学1:サハリン」

第6回 11月 25 日(土)「隣の国と考古学2:韓国」

第7回 1月 27 日(土)「北米先住民と開拓者の文化財保護」

第8回 3月 2 日(土)「縄文の思考・弥生の思考と現代」

[時 間]午後1時 30 分~午後3時

[場 所]東北歴史博物館3階講堂

[定 員]各回 250 名 (事前申込み・先着順)

[参加費]無料 ※講座ごとに受講可能。

* 新型コロナウイルス感染症の影響により、予定が変更になる場合があります。

【地底の森ミュージアム】

●第103回企画展「仙台の遺跡めぐり 長町駅東遺跡」長町に操車場があったころ」

〔会 期〕4月21日(金)～7月17日(月・祝)

〔会 場〕地底の森ミュージアム 企画展示室

■企画展関連講座「駅弁容器と汽車土瓶の考古学」

〔日 時〕6月10日(土) 13:30～15:00

〔講 師〕河野真理子氏(日本考古学協会会員)

〔会 場〕研修室

〔定 員〕40名

〔参加費〕無料(入館料がかかります)

【仙台市縄文の森広場】

●ミニ企画展「東北の縄文遺跡—仙台の遺跡と米沢の遺跡—」

〔会 期〕2023年3月19日(日)～6月11日(日)

*見学には入館料が必要です。

県内発掘調査情報

●多賀城跡

〔所 在 地〕多賀城市市川・浮島

〔調査主体〕宮城県多賀城跡調査研究所

〔調査期間〕5月15日(月)～10月(予定)

●大吉山瓦窯跡

〔所 在 地〕大崎市古川小林字浦越

〔調査主体〕宮城県多賀城跡調査研究所・大崎市教育委員会

〔調査期間〕5月15日(月)～8月上旬(予定)

2022年度下半期の役員会の動向

2022年度下半期の役員会の議題は以下の通りでした。

(開催場所はいずれも東北大学埋蔵文化財調査室)

【第4回 12月3日(土)】

①遺跡調査成果発表会について等

【第5回 3月4日(日)】

①宮城県考古学会総会・研究発表会について等

【第6回 4月9日(日)】

①宮城県考古学会総会・研究発表会について等

活 動 報 告

●旧石器部会(宮城旧石器研究会)

2023年3月19日(日)に第43回例会を開催しました。今回は東北大学考古学研究室のご協力のもと、4件の研究発表と関連する3遺跡の資料検討を行いました。参加人数は14名で、発表内容は以下の通りです。

戸塚瞬翼(東北大学大学院)

「富山県西原C遺跡出土石器群について」

金彦中(東北大学大学院)

「山形県懐ノ内F遺跡出土石器における製作技術と機能分析」

結城駿(東北大学)

「福島県笹山原No.16遺跡第2石器集中の遺跡構造」

渡邊咲良(郡山女子短期大学)(ビデオ発表)

「笹山原遺跡No.10における石器製作動作連鎖の研究」

発表に対しては整理・研究の状況や今後の展望について質問が寄せられたほか、資料検討では資料を手に取りながら活発に意見が交わされました。今後も研究発表会や遺物検討会・整理作業などを通して、宮城・東北地域の研究を継続していきたいと考えています。

会誌『宮城考古学』について

●第26号(2024年5月発行予定)の原稿募集

投稿希望の方は2023年11月30日までに、第24号掲載の投稿申込みフォームにて下記アドレスまでお申込みください。投稿申込みフォームは宮城県考古学会ホームページからもダウンロード可能です。応募多数の場合は早めに受付を終了します。原稿締切りは2024年1月31日です。【原稿の種類】①論文(22頁以内)②研究ノート(12頁以内)③展望(12頁以内)④資料紹介(8頁以内)ほか。書式等の詳細は第24号を参照願います。

<連絡先>梅川 隆寛(会誌代表幹事)

E-mail:miyagikougakugaku@gmail.com

会費の納入をお願いいたします

会費は一般会員が4,000円、学生会員が1,000円、夫婦会員が5,000円です。未納の方は、お早めにお支払い下さい。

文化財担当職員・学芸員の採用情報を募集しております

宮城県内の文化財担当職員や学芸員の採用情報を募集しております。提供していただいた情報は、当会Webサイトにて公開いたしますので、よろしく願いいたします。

<連絡先>高橋 透(連絡紙代表幹事)

E-mail:info@m-kouko.net(宮城県考古学会)

情報・寄稿などをお寄せ下さい！！

考古学に関する情報や寄稿、会員通信等をお寄せ下さい。また、ご意見ご要望もお待ちしております。

本会Webサイト(<http://www.m-kouko.net/>)では、本会連絡紙のほか、お寄せいただいた情報を随時掲載いたしております。発掘調査情報、学会、イベントなど考古学に関する情報をお寄せください。

<連絡先>高橋 透(連絡紙代表幹事)

E-mail:info@m-kouko.net(宮城県考古学会)